



3/25(水) 修了式……令和7年度最後の登校日でした。

昨年の4月に串高に赴任し、まもなく1年が経とうとしています。学校現場は4年ぶり。コロナ収束以降の学校は、いろんなことが変わっていました。さらには、不慣れな土地ではありませんでしたが、生徒、職員、保護者、地域の方々とのご縁に支えられて、学校そして地域になじむことができ、私自身、いろんなことを学ぶことができました。とても充実した時間を過ごすことができました。



串高は、全体的にシャイな生徒が多い印象でしたが、話してみればけっこう明るいところもあるし、それなりに悩みもあるようだし、それはどこにでもいる普通の高校生の姿です。そんな生徒たちのこの1年の様子を振り返ると、多くの学びの経験を通して、「大きな子ども」から「小さな大人」へと着実に変化しているように思います。今年度最後の校長講話では、次のような話をしました。

- 年間を通して、命の危機に瀕するような事故や病気がなかった。これが何よりなのです。だから、まずは君たちに対して「ありがとう」という気持ちです。
- 以前、明石家さんまさんの「生きてるだけで丸もうけ」という言葉を紹介しました。加えて「死ぬこと以外はかすり傷」ともさんまさんは言っています。命があるからいろんなことができる。チャレンジできる。そして、失敗したとしても命を落とすことはないのです。
- 徳島県の有名な「阿波踊り」。掛け声の一つに「踊る阿呆に見る阿呆」というのがあるのですが、君たちは「踊るアホ」と「見るアホ」とならどちらを選ぶ？
- どちらもアホなのですけどね……でも、両者には大きな差があります。掛け声は「同じ阿呆なら踊らにゃ損損」と続きます。私は、君たちに「踊るアホ」を選んでほしいのです。見ているよりもずっといい！チャレンジしてるじゃないですか！「何のために生まれて、何をして生きるのか」。どのように「今を生きるか」を考えてみてください。
- 最後にもう一つ。先ほど、私は君たちに「ありがとう」と伝えました。年度末の節目、君たちもこの一年間を振り返って、お世話になった人に感謝の気持ちを伝えなさい。いろんな支えがあって、今、君たちは生きているのですから。

表彰式…コンテスト等の表彰2件、英検・漢検合格12件、皆勤賞9件の計23件を表彰しました。

離任式…転退職される先生方一人一人から心のこもったメッセージがありました。先生方からの言葉を励みにして、今後の高校生活を送ってほしいです。



※ 次年度第1号は4/10の予定です。串木野高校頑張っています！（文責 立森）